



12月9日

第45回社会人野球日本選手権大会で準優勝した、日本生命野球部のかたがその報告に市を訪れました。
十河監督は「貝塚市に練習拠点を移転してから3年間で2回目の銀メダルです。次はもっといい色のメダルを獲得したいと思います」と話されました。



12月10日

貝塚手紙文化を普及する会の中野義孝会長(左から2番目)から、市内全小学校児童あてに年賀はがき4,100枚を寄贈いただき、市から感謝状を贈呈しました。
ありがとうございました。

12月13日

国際ソロプチミスト大阪 - いずみ様から、三ツ松認定こども園にトーンチャイムと携帯用譜面台を寄贈いただき、市から感謝状を贈呈しました。
大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



12月13日

貝塚シニア・リトルリーグ野球協会OBで、北海道日本ハムファイターズに入団する上野響平選手(左・第一中学卒)と、台北国際青少年野球大会に日本代表として出場する中田拓弥選手(右・第三中学2年生)が、その報告に市を訪れました。
ご活躍を期待しています!



12月14日

まちの駅かいづかで、つげさんのクリスマス飾りを作成するワークショップが行われ多くのかたが参加しました。
まちの駅かいづか内に設置していたツリーの前で、完成品とともに笑顔で記念写真を撮るかたもいました。



12月22日

「地域再発見! 妙順寺から水間寺へ」が開催されました。第1部の現地見学会には83人が参加し、行基と楠木正成のゆかりの寺を探訪しました。第2部は、「地域ショウタイム in がんのんさん」が行われました。写真は、猿回しが披露されたときの様子です。

12月24日

第23回河内長野会長杯争奪少年軟式野球大会で優勝した貝塚スポーツ少年団西地区のみなさんが来られました。新野主将からは「今回は良い成績を残せてとてもうれしいです。このあと出場する大会でも結果を出し、メダルをかけて卒団したいです」と報告がありました。



1月2日・3日

水間寺で「千本搗餅つき」(市指定文化財)が行われました。
若中と呼ばれる8人1組の男子が2臼に分かれ、掛け声とともに杵で餅を高く上げ下ろしする様子を、たくさんの参拝客が見学していました。



1月8日

半田地内で発生した火災で、早期発見・迅速な119通報・適切な初期消火活動により被害を最小限に抑えられた功績に対し、西川裕介さん(左)と荒川秀隆さん(右)に感謝状を贈呈しました。
ありがとうございました。



1月14日

人権擁護委員を昨年未退任された山下智子さんに法務大臣から感謝状が贈呈されました。
人権相談や啓発、小学校での人権教室のほか、岸和田人権擁護委員協議会会長を務めるなど多年にわたり人権擁護委員活動にご尽力されました。

問合せ先

秘書課
☎072-433-7316



成人のつどいのテーマである「新しい扉を開く日 貝塚で集いましょう」のとおり、これからは新成人のみならずそれぞれが、大人としての自覚を持てることを期待します。そして、この貝塚で過ごされた日々を糧にして、ご自身の夢を実現させるための扉が開かれることを心から応援しています。
この日のために準備をしてこられた実行委員会をはじめ関係のみなさん、本当にお疲れさまでした。

成人のつどいのテーマである「新しい扉を開く日 貝塚で集いましょう」のとおり、これからは新成人のみならずそれぞれが、大人としての自覚を持てることを期待します。そして、この貝塚で過ごされた日々を糧にして、ご自身の夢を実現させるための扉が開かれることを心から応援しています。
この日のために準備をしてこられた実行委員会をはじめ関係のみなさん、本当にお疲れさまでした。

第1部の式典では、実行委員長のあいさつ、私や来賓からの祝辞の後、お世話になった大切なかたへの感謝の手紙が披露されました。第2部では市吹奏楽団による演奏や創作ダンスのパフォーマンスの後、みんなで合唱し、最後は私も舞台上で一緒に大ヒット曲「パプリカ」を歌い、ダンスも踊らせていただきました。



1/12
市長行動録
成人のつどい
コスモシアター大ホールで開催された「成人のつどい」に出席しました。
今年度は男性539人、女性532人の計1071人のかたが本市で成人を迎えられ、新成人のみならず先輩委員で構成された実行委員会が企画・運営し、このつどいを創りあげてくださいました。

つげさん手話コーナー

手話をご紹介します。

会う
両手の人差し指を立てて、近づける(人と人が会うイメージ)。

問合せ先 障害福祉課
☎072-433-7012